

---

## ■ 今日の山形 駐車場を取り巻く環境・観光の魅力とは？

山形駐車協会 事務局長 佐藤 守彦

---

山形駐車協会は、山形市における駐車場の円滑な運営と会員各社の情報交換・親睦を図ることを目的に1979年(昭和54年)に設立されました。山形市都市振興公社など山形市の行政機関とも連携し、山形市内の駐車場所所有者9団体と賛助会員のメーカー2社で構成されています。

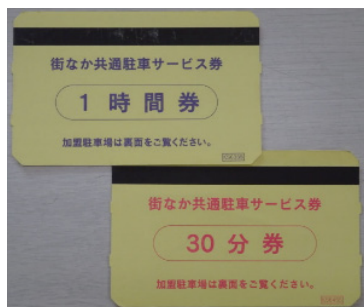
山形市は、城下町の名残で以前から道路の幅が狭く、山形市内中心地の「山形七日町商店街」も車両は一方通行です。また、1世帯あたりの自動車保有率も、全国平均1.37台に対して山形県は2.11台と全国1位ということもあり、特に中心市街地における駐車場の存在は、欠かすことのできないものとなっています。



山形市中心部 七日町商店街

現在、山形市内の中心部(七日町、山形駅周辺)におきましては、七日町商店街振興組合が運営する「街なか共通駐車サービス券」(1時間券と30分券)が、地域の駐車場共通サービス券として運用されています。(1998年スタート)

七日町周辺で15カ所・2539台、山形駅周辺で5カ所・1318台の共通サービス券使用可能な駐車場があります。



街なか共通サービス券

しかしながら、ここ数年、山形市内においては数々の深刻な問題が起きています。まずは、コロナの問題です。マイカー通勤がメインの山形市内の駐車場におきましても、リモートワークが推奨された昨年度は、数か月の間、通常は平日満車が出る日中最大料金を設定した駐車場において空車が目立つ日々が続きました。また、夜の飲食店がメインの山形駅前香澄町界隈の駐車場におきましても、夜間料金を値下げしても、なかなか稼働率が戻らない状況が今日でも続いています。

更に、七日町を中心とした市街地におきましても、山形県内唯一の百貨店であった大沼デパートが2020年に倒産し、山形県は全国で唯一百貨店が無い県となってしまいました。このことは、大沼デパートの契約駐車場として協力していた周辺の駐車場事業者にも、利用率の低下ということで大きな影響を及ぼしています。

#### □山形の地域連携ICカード「チェリカ」スタート

電子マネーICカードの時代に入り、ついに山形県内でも、JR東日本の交通系ICカードSuicaとコラボしたICカード「チェリカ」が、県内2つのバス会社(山形交通、庄内交通)から「yama ko cherica」「shoko cherica」というかたちで5月14日より発行・運用が開始されました。山形市内でも、バス、鉄道事業者だけでなく、商店街における電子マネーの普及を推進するための協議会も設立されました。昨今のコロナ感染対策で、現金受け渡しの非接触化、駐車料金回収後の硬貨納金時の金融機関における手数料等を考慮しますと、駐車場料金精算においても、今後は電子決済の普及が進むものと思われます。

(チェリカは、山形の特産品さくらんぼ cherryにちなんで名付けられました。)



チェリカの案内

山形駐車協会は、従来通り山形市や山形県警察本部等との連携で、路上駐車防止等に向けた取り組みを行う一方で、より重要な問題となったコロナ禍や、百貨店の撤退で空洞化している中心市街地を再活性させるため、駐車場の面から市内の事業者、行政機関との情報交換を積極的に行い、住みよい発展した街づくりに貢献していくことが責務と考えています。全日本駐車協会をはじめ、各地駐車協会のみなさまからの知恵や成功事例も積極的に取り入れて行こうと思いますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

## ◆山形とは、どんなところ？

### ・沿革

- 明治 9年 山形、鶴岡、置賜(オキタマ)の3県を合併し、山形県となる。
- 明治38年 奥羽本線 全線開通
- 明治44年 山形市大火 県庁、市役所等1456戸焼失。
- 昭和39年 山形空港開港
- 平成 4年 山形新幹線開通
- 平成11年 山形新幹線 山形から新庄まで延伸
- 平成21年 「おいしい山形プラザ」東京銀座にオープン
- 平成26年 やまがた樹氷国体開催
- 平成29年 全国高校総体開催

### ・山形のシンボル

- 県の花：べにばな 県の木：さくらんぼ 県の鳥：オシドリ
- 県の魚：サクラマス 県の獣：カモシカ

### ・季節のイベント

春 天童市の人間将棋 (天童桜まつりのイベント)

将棋の駒の生産で有名な天童市で、毎年4月中旬に、鎧兜に身を包んだ人が駒武者として巨大な将棋盤の上を移動する人間将棋のイベントが開かれます。

今年は藤井聡太竜王が初参加されました。

夏 「花笠まつり」8月5日、6日、7日の3日間で開催されます。

山形市の繁華街は花笠まつり一色に染まります。

♪花の山形 紅葉の天童 雪を眺める尾花沢♪

秋 芋煮会

毎年、山形市内の馬見ヶ崎川の会場にて、「日本一の芋煮会」のフェスティバルが開かれます。巨大な芋煮鍋に新車の建設重機で具材を投入する光景は圧巻です。

山形を中心とした内陸部の醤油味、日本海側の味噌味と、地域によって様々なバリエーションがあります。



日本一の芋煮会

## 冬 蔵王の樹氷とスキー場

山形県と宮城県の県境に連なる蔵王連峰は、標高1841メートルの熊野岳を主峰とする火山群です。

この蔵王の冬の名物は雄大な樹氷原です。過冷却水がアオモリトドマツに凍り付き、大きく成長していきます。2月中旬から3月になると、その姿は雪原を歩く怪獣のように見えることから、「スノーモンスター」の愛称が付けられています。全国からのスキーヤーや、近年、雪が降らない台湾からの観光客にも人気です。

### ・ 麺王国山形

山形の蕎麦屋の件数は、人口あたりの割合で長野県に次ぐ第2位です。

秋の新そばの季節になると、県外からも多くの観光客が新そばを味わうために山形にやってきます。

名物の出汁味のきいた「肉そば」も有名で、山形県民は肉そばは冬でも冷たいものを食べます。



冷たい肉そば

近年、お隣の新潟市に抜かされましたが、ラーメン消費量は山形市が全国2位となっています。個性あふれる個人経営のラーメン店が、街中のみならず、住宅地の中など多数存在します。そばつゆベースの中華そばも種類が多く、蕎麦屋であっても中華そばとしてメニューがある店が多いです。

### ◆山形駐車協会 会長 齋野 五兵衛より

ここ数年のコロナ蔓延により、山形県内におけるイベントもかなり制限されてきました。山形駐車協会においても、会合の自粛ムードもあり、例年のような情報交換の例会や懇親会を開催できない状況でした。ワクチン接種が進んできたことにより感染者数も減少傾向にあるため、県外からの観光客、そして以前のようなインバウンド需要も回復しますと、駐車場の利用状況も改善すると思われますので、今年度からは、状況を見ながら積極的な情報交換を再開し、前向きな姿勢で駐車場運営の改善に注力していこうと思います。